

公表:令和5年11月1日

事業所名 子ども発達支援センター 穂別きらり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			粗大運動が集中しないように時間をずらすなど工夫をしている。	個別室に教材、ゲーム等が収納されていて療育に支障が出るがあるので、別室の収納スペースがあると良い。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			療育形態や児の状態により役割分担を決めている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	40%	60%		個室トイレに手すりを設置した。	玄関からの入室の祭段差有リスロープを検討したい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	60%		業務改善を進めるように枠組みを作る。	職員皆の意見を反映させるように工夫していきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			町の支援センター向けのアンケートも実施、改善を図っている。	評価により今後の改善に繋げていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%				ホームページにて公表していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	60%			外部評価が必要。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			町の保育士の会での研修はコロナ禍で見合わせたが検討したい。	発達支援研修、積極的に参加し、情報を共有している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			年2回の保護者との懇談や関係機関とのケース会議等で計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	40%	20%	発達検査は、心理士と連携し実施。すべての子どもに対応していない。	職員全体のアセスメントツール確認必要。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%		集団療育は、担当者が立案し他の担当者との確認をおこなっている。	引き続き、どんなプログラムがよいか相談するようになっていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%		行事の振り替え休日、天候による下校時間変更など関係機関と連携し対応。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			家庭、学校、児童クラブ習い事すべて考慮している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえ ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			打ち合わせを必ずして、役割分担の確認をしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			児の様子や気になる点や困っている点成長など報告し他の職員からの意見も聞くようにしている。	支援の振り返りの時間が少ない。当日日誌作成間に合わないことがあるが、後日必ず作成している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			記録をつけ、児にかかり対応はどうだったかかの職員の意見を聞き改善につなげている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%		保護者との懇談とケース会議等を行うことで見直しの判断をしている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	80%	20%		ガイドラインに沿った支援をおこなっている。	基本活動を組み合わせられてきているか、検討していきたい。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	40%	60%		相談支援事業所が遠方で利用できていないので、相談にのる。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			年間計画、行事予定・下校時間等の連絡や児必要であれば児の情報交換をおこなっている。	学校側が協力してくれているので、今後も連携体制を強化していきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					現在該当児はいない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			児童発達支援事業を利用から放課後等に移る児がほとんどあり情報の把握は、できている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					該当児なし 必要があれば情報共有できる
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%				在籍児は、児童クラブに籍がある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	60%	40%			医・福・保会議に必要な時参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				

	チェック項目	はい	どちらとも いえ ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
	②9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		100%		ペアレントトレーニングとは異なるが保護者を対象とした講座を不定期で実施している。	ペアレントトレーニングまでは出来ていないが、有効な子育ての方法を提案しながら支援している。
保護者への説明責任等	③0 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				
	③1 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			関係機関との協力を得て助言、支援へと繋げている。	
	③2 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%				保護者全員加入の「きらりの会」があるが、開催はコロナ禍で難しい。
	③3 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		苦情委員を元園長等をお願いし、何かあれば相談できるようにしている。	すぐ全職員で検討し、場合によっては管理職にも相談し、納得いただけるように対応する。
	③4 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月1回の会報を発行している。	
	③5 個人情報に十分注意しているか	100%				
	③6 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	③7 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	60%			広報・ホーム等でお知らせしている。
非常時等の対応	③8 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%		マニュアル策定している。	職員に周知しているが、来年度も保護者にも提示したい。
	③9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%			火災のみ避難訓練している。
	④0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			自主的に勉強会開く。	外部の虐待研修を受け、それを職場研修として行う。
	④1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	40%	60%			現在まで該当児なし。保護者に十分説明し了解を得るようにしていく。
	④2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	60%			食事の提供は無いが、個別に状況を把握している。
④3 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			事例集を作成した。	定期的に全体に周知し理解が必要。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。